



THIS TIME SHOP



埼玉トヨタ自動車株式会社 熊谷南店

埼玉県鴻巣市新宿 2-176-2

2021年12月にオープンした埼玉トヨタ株式会社様の熊谷南店は同社の行田店とUカー拠点の吹上マイカーセンター、更には板金・塗装工場の熊谷ボデーサービスセンターを統合・集約した新設店です。敷地面積約1万㎡は県北最大級の規模を誇り、同社における県北の旗艦店に位置付けられています。

埼玉県の中央を南北に走る、交通の大動脈ともいえる国道17号線は大型店舗などが集まっており、絶好のロケーションに位置する同店は、広大なショールームに加え、大型キャノピーが連なる店舗は既に幹線道路のランドマークとして存在感を放っています。このため、通りを走行するドライバーから認知度は格段に高いといえるでしょう。とりわけ、店舗の両端に信号があることで信号待ちのドライバーが店舗を眺める機会が多いため、抜群の立地といえるでしょう。

県北の重要な要衝として位置づけられる熊谷南店は落ち着いたショールームと指定工場化したサービス工場、そして最新設備を取り揃えたBP工場を併設し、拠点としての機能性を最大限に高めています。

POINT 1 気品と落ち着きに満ちた極上の時間を提供するラグジュアリーなショールーム



店舗南端側から見たショールームの外観。



大型のキャノピーはお客様を悪天候から守るだけでなく、店舗の外観をスタイリッシュにみせてくれます。

高級感と気品が漂うショールームはシックなテーブル席にゆっくりくつろげるソファ、そして個室商談ルームで構成されています。営業は全10名体制で新車を月間平均50台、Uカーは同30台を販売しています。

また、熊谷南店のおもてなしと言えはなんといってもご当地アイスクリームとして名高い那須高原、南ヶ丘牧場「ガンジゴールデンアイスクリーム」の販売です。現地で買うか、通販で購入するのがポピュラーでなかなか直接購入できない人気アイスが集客に大きく貢献しています。



店舗入口側から見たショールームの内観。



ラグジュアリーな雰囲気の商談ルーム。



待合エリアのソファが待ち時間を極上の時間に演出。



南ヶ丘牧場のアイスが同店の人気アイテムに。

POINT 2

指定工場化することでサービスのクオリティを向上 サービス売上がますます拡大

店舗集約前の行田店のサービス工場は認証工場でしたが、新店舗の熊谷南は2022年5月に指定工場となり、サービスの体制は更に充実しました。6名のサービスエンジニアの体制で車検台数は月間80から90台となっています。サービス売り上げは月を追うごとに伸び、月間約2,000万円にまで拡大。指定工場となることで、今後は隣接するファストフードのお客様を取り込むことが期待でき、サービス売り上げはまだまだ伸びていくことが見込まれます。



検査ライン。



門型洗車機は2基を設備。



全6ストール（検査ライン含む）のサービスショップにはスポット型のエアコンがストール毎に完備しています。



タイヤチェンジャーとホイールバルancer。



廃棄物置き場。すっきりと分別し、美観を守ることで店舗も工場も清潔に。

POINT 3

働く人にも近隣環境にも優しいオール水性化 品質と環境対応を両立させた最先端をゆくBP工場



完成検査場兼エーミング作業場にはハンターの四輪アライメントテスターとヘッドライトテスターHLT-185を設備。



タイヤチェンジャーはNS-90、ホイールバルancerはVT-118を導入。Hfo-1234yfに対応するエアコンリフレッシュャー。



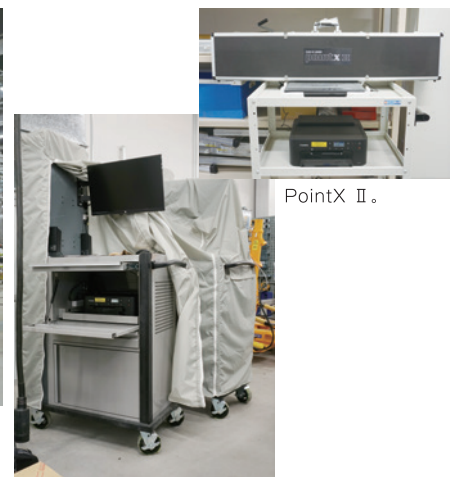
下地処理作業場奥の調色室にはエアコンと自動ドアを設備。

熊谷南店の敷地内に併設された熊谷南ポデーサービスセンターは埼玉トヨタ県北地域のBPを担う工場です。钣金4名、塗装6名、フロント3名体制で月間平均80台から90台の作業を行っています。同センターでは大ダメの入庫が多いのが特長で四輪アライメントテスターはもちろん、ボディアライメント計測システム「CAR-O-TRONIC Vision2」は2台、「PointX II」を保有し、精度の高い車体整備を実現しています。

塗装部門においては、作業環境や近隣環境に配慮し、塗装のオール水性化に踏み切っています。水性塗料対応の塗装ブースを2基導入するとともに、水洗式の排気装置を設備し、排気口から出るミストとにおいを極力抑える企業努力を行っています。



水性塗料対応の塗装ブースCAB-08は2基を設備。



PointX II。

CAR-O-TRONIC Vision2。